

答 辞

本日は、私達卒業生のために、このような盛大な式典を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、松永学長先生をはじめ、諸先生方、ならびにご来賓の皆様方にご臨席賜りましたことを、卒業生を代表いたしまして、心より御礼申し上げます。

振り返りますと、農工大に入学してからの4年間はあっという間でした。農工大入学の際の大学での新たな出会いや、学生生活への期待に胸躍らせたことは、今でも憶えています。学業並びに研究室での日々の研究やセミナー、サークル活動、学園祭などのイベントやアルバイトなど、忙しく充実した日々を過ごしてきました。すべてが順風満帆であったわけではなく、課題や壁にぶつかり、自分の限界を感じてすべてが苦しくなった時もありました。しかし、そのたびに周りの多くの人々に支えられたことで懸命に取り組むことができ、今日こうして無事に卒業式を迎えることが出来ました。

東京農工大学で出会った全国から集まった友人たちは、多様な価値観を持っていました。中学高校と狭い世界で育った私にとってそんな友人たちとの交流は、自分にはなかった考え方や、知らなかった自分の一面を気付かせてくれました。文化祭では、互いに意見を交わしアドバイスしあうことで、よりよいものにしようと努力しました。学部4年生の時に参加した合成生物学の国際大会では、焦燥感や睡魔と戦いながら、時間を忘れて友人たちと共に準備に取り組みました。その中ではもちろん辛い時もありました。しかし、真剣に意見を交わし、協力して1つ1つの目標を乗り越えることができたのは、友人たちと励まし合いながら同じ目標に向かっていくことが出来たからだと思います。そういった経験と思い出は、私にとってかけがえのないものとなりました。

今日の私達を取り巻く状況は、決して易しいものではありません。しかし私達は、農工大における講義や専門分野の研究を通して視野を広げ、様々な壁を乗り越えた結果、自分の考えをまとめ、人に理解してもらうための表現力を身につけることができました。こうした農工大での出会いと経験は私達を確実に成長させ、大きな壁にも立ち向かう力と自信を与えてくれました。農工大での出会いと経験を胸に、それぞれが新たな道を、未来を、切り開いていきたいと思えます。

最後になりましたが、今までご指導して下さいました先生方、学生生活を支えていただいた職員の方々、私を支えてくれた友人、先輩、後輩に心から御礼申し上げます。そして、今日この日まで私を育て、成長を温かく見守ってくれた家族に深く感謝いたします。

本日は本当にありがとうございました。皆様方のさらなる御活躍を心よりお祈り申し上げ、感謝の気持ちを込めて、答辞とさせていただきます。

平成26年 3月25日

卒業生代表

工学部 生命工学科 4年

山本 幸美